

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

vol. **74**
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン

新たな挑戦！ ～コロナに負けない新事業特集～

クラウド
ファンディング
募集中!



とくしま花ロードプロジェクトチーム

子育て情報
配信中!



NPO法人子育て支援ネットワークとくしま

とくしま市活センター TOKUSHIMA NPO CENTER

徳島市市民活力開発センターとは？

徳島市市民活力開発センター（市活センター）ではNPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村（徳島東部地域定住自立圏）に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行っています。指定管理者として、認定特定非営利活動法人新町川を守る会が運営しています。

開館日

火～土曜日 10:00～21:00 / 日曜・祝日 10:00～18:00

休館日

月曜日※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日
年末年始・お盆

連絡先

[TEL] 088-611-3886
[FAX] 088-624-3860
[mail] nposhimin@fm.nmt.ne.jp
[H P] www.tokushima-shikatsu.com

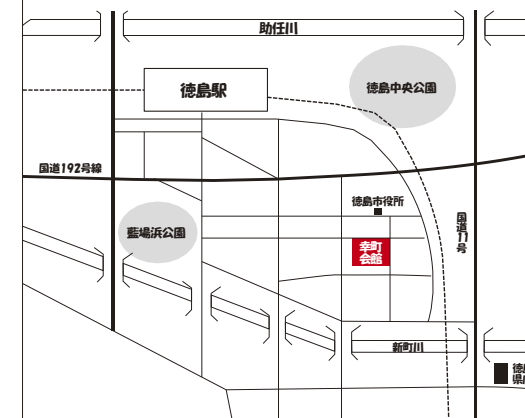
H P



Facebook



ACCESS MAP



所在地

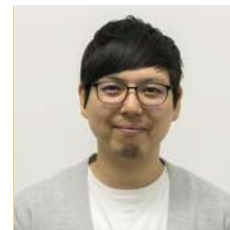
〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階

お車でお越しの方

当センターの駐車場（1台分）もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

バイク・自転車でお越しの方

センター東側の駐車場をご利用ください。



センター長 岸田 侑

助成金申請のサポートや、NPOと行政、NPOと若者とのマッチングなどに注力しています。ぜひご利用ください。



スタッフ 長谷川 隼

広報誌や会計事務を主に担当しています。会議室や機材の利用、お悩み相談でも、いつでも気軽にお越しください。

PASSPORT.

発行月：2020年7月 号数：74号 発行：徳島市市民活力開発センター
この広報誌に関するご意見、ご感想は、発行元である徳島市市民活力開発センター（088-611-3886）までご連絡下さい。

イベント情報大募集！

PASSPORT.への掲載や、メールマガジンでの配信、徳島市市民活力開発センターの掲示板へ配置させていただく情報を随時募集しております。「取材に来てほしい!」「こんなイベントするよ!」といったお声をお待ちしております!





KOSODATE NETWORK TOKUSHIMA

NPO法人子育て支援ネットワークとくしま YouTubeでの動画配信に挑戦！

子育て情報
配信中！

新たなチャレンジyoutubeにて日常をお届け！
現在 子育て支援ネットワークとくしまはyoutubeにて様々な遊び方やおもちゃを紹介したり絵本の読み聞かせを行っているこれまで踏み入ったことのないオンラインの世界なぜこのような取り組みを始めたのかその経緯に迫ります。

出してくれたり 最近はいびりだしてきたよね（笑）「こう話す松崎さんの言葉からはメンバーと一緒に試行錯誤しながらやってきた様子が想像できたとともにどこか楽しみながら取り組まれている様子もうかがえました。

届きたい日常

いくつかの動画を配信した後 それを見たお母さんからメッセージが届いたそうです。動画の中にはいつも一緒に遊んでくれている人たちが映っていてそれで子どもが笑ってくれているということ 配信してきてありがたい！というメッセージでした。松崎さんは「コロナの影響で休館となり毎日来ていたお母さんたちがどういう風に過ごされているんやらかって気になって。動画を作りたいってなったのは、いつもみんなが来てくれていた 安心して遊んでくることができたら 楽しんでくれるんじゃないかなあと思ってたから。だからこそ 素人でもいいから、とにかく日常を撮ってみようって決めたんよね やり方は分からなかったけど（笑）」と、youtube 配信を始める前の心境を語ってくれました。

守りたい居場所

「徳島中に子育ての輪が大きくひろがりますように…」との願いを込めて始めたこの活動は 気付けば 28 年目を迎えました。活動の幅は広がっていますが 根底にある想いは変わりません 子育てという大変な時期をいかに楽しめるか 笑えるか。しんどいことを、自分だけじゃないんだって、みんな同じように悩んでるんやって 励まし合える場所 で在り続けたい。だからこそまだこの情報を知らないお母さんたちへ youtube という新たな手法で知ってもらう 最終的にはまたオフラインの繋がりに帰ってきたりと どんどん地域のお母さんたちが繋がっていったってほしい。松崎さんの言葉からは 当初から変わらない思いの強さを感じました。

コロナの影響で環境が大きく変わりつつある現在、これまでのやり方に捉われず、とにかくやれることをやってみよう 新しいことも取り入れて行こうという姿勢は非常に大切なことだと思います。youtubeでは毎月1日『すきっぷの森 もっく』の動画を配信 不定期で『子育てほっとスペース・すきっぷ』の様子も配信していくようです。これからチャレンジを続けるその姿をぜひご覧ください！

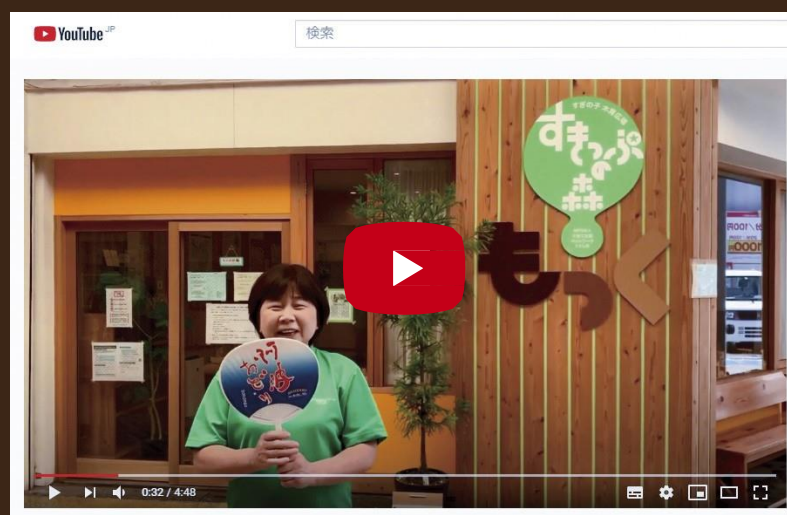
PROJECT TEAM

NPO法人子育て支援 ネットワークとくしま

徳島市籠屋町で『商店街子育てほっとスペース すきっぷ 徳島市から受託』と『すぎの子木育広場 すきっぷの森もっく』（徳島県から受託）を運営している。他にも『移動子育てひろば』『赤ちゃん授乳』『とくしま子育て防災ネットワーク』など、徳島で安全で楽しく子育て出来るよう様々な事業展開をしている。

〔住所〕
〒770-0914
徳島市籠屋町1丁目14
〔電話番号〕

HP



KEY PERSON

NPO法人子育て支援ネットワークとくしま
理事長 松崎 美穂子

YouTube
チャンネルは
コチラ



「配信しよう！」となったものの撮影や初めての経験
編集の仕方アップロードの仕方も何一つ分からない状況からのスタート 当然新しく覚えなければならぬことばかりで、無事にyoutubeでの配信ができるようになるまでは苦労したといえます。演じる方も緊張するし 背景どうしようとか 終わり方をどうしたらいいんだろ うとか 色々悩みながらだったけど、やっていくうちにみんなが次から次にアイデアを

未知への挑戦
令和2年3月 徳島市市民活力開発センターに掛かってきた一本の電話。
「youtube 配信をしたいので教えてほしい！」。電話の相手は、NPO法人子育て支援ネットワークとくしま以下「net」の松崎美穂子さん。netは徳島における「子育て支援」の最前線をいく団体であり商店街子育てほっとスペースすきっぷや、すぎの子木育広場すきっぷの森もっくの運営をしています。そんな松崎さんからの「youtubeを始めたい」という相談は少し予想外で驚きました。理由を尋ねてみると「コロナでみんなに会うことができないから 映像で遊び方とかを配信して子どもたちやお母さんたちが家でも楽しめるようにしたい！」とのことでした。



TOKUSHIMA HAMA ROAD

笑顔咲くやさしい街へ! 花ロードを通して徳島をカラフルにした

クラウドファンディング募集中!

令和2年7月1日とくしま花ロードプロジェクトチームによるクラウドファンディングが始まりました。このプロジェクトチームは『NPO法人びざん大学』と『国際NGO/NPO法人NICE』によって運営される共同チームです。期間は8月7日(金)まで、5万円の支援金を募ります。

コロナによる危機

新型コロナウイルスの影響は花ロードプロジェクトにまで及んでいます。外国人ボランティアの人が祖国へ帰ることができず、滞在に掛かる費用(宿泊費や食費)もかさむばかり。これまでは『びざん大学』の代表理事である長谷川さんが経営するチュロスカフェの収益をその資金に充てていました。しかし現在はイベントが軒並みキャンセルとなり、出店の予定も立っていません。

また、花ロードプロジェクトの経費の多くは徳島の地元企業からの寄付で賄われていますが、コロナの影響を受けている企業さんも多い中、前年と同じように寄付を集められるかの見通しも立っていません。そして何より、花ロードプロジェクトの醍醐味である300人規模の「花植え会」をすることができません。最近の花植え会では毎回3万5千株を準備しており、この春に開催する予定だった花植え会は中止となってしまいました。

気付かされた「大切なこと」

無謀とも思われた数の花植え作業はなんとが無事に終わりました。しかしそのとき、なんだかポツカリ心に穴が空いたような感覚になった」と長谷川さんは言います。そして「自分たちだけで世話して綺麗に咲いた花を見せたいんじゃない。地域で一緒にあって、みんなで作っていくけんえんやと、花が咲いている状態が続くことは重要やけど、それを誰がどう思ういでやっているか、共有できているか、ということが重要なんだと、当たり前のことやけど、改めて気づかされた。」と言葉を続けました。

地域で育てるプロジェクトへ

「300人の花植え会が出来ないという状況やからこそ、クラウドファンディングに挑戦することでより多くの人に花ロードを応援してもらい、花植えに参加した気分を味わってもらいたい!」

ただ花が綺麗に咲いていればいいわけではなく、多くの人と一緒に花を植える経験共有して、その花を育てていくこと。もっとこの徳島は笑顔が溢れるまちになっていくのではないかな、そんな願いが込められたこの花ロードプロジェクト。ぜひ私たちの住まう「徳島」を一緒に育てていきませんか?

PROJECT TEAM

NPO法人びざん大学

「まちでまなび、まちをあそぶ」というコンセプトのもと、徳島のまちを舞台に学ぶことを通していろいろな仲間との出会いを楽しむことができる。

国際NGO/NPO法人 NICE

「カラフルでヘルシーな世の中」を目指して、世界約90ヵ国30000の国際ボランティアプロジェクトを通してグローバルな仲間とローカルな課題に取り組んでいる。

クラウドファンディング
ホームページはコチラ



代表 長谷川 智理 さん

とくしま花ロードプロジェクトとは?
2014年9月からスタートした「とくしま花ロードプロジェクト」徳島の玄関口である徳島駅周辺を美しく彩り、観光客が気持ちよく徳島を楽しんでくれるようにと、『認定NPO法人新町川を守る会』の中村英雄さんが発起人となり始まったプロジェクトです。年間約1万株以上の花を植え、多いときには100名以上のボランティアたちがたくさんの方々が花ロードプロジェクトに参加しています。

外国人ボランティアが大活躍!

大量に植えられた花たちの日々の管理をしているのが『NPO法人びざん大学』のメンバーです。広範囲に渡って植えられた花への水やりは決して楽なことではありません。道路沿いに立っているビルや公園やガソリンスタンドから水をもらって、バケツで運んでジョウロでまく地道な作業を毎日欠かすことなく行ってくれています。最初90リットルのポリバケツを台車にくくり付けて水道と花壇を何往復もして水をまいていたこともあったそうです。これまでに26034、力国からの外国人ボランティアが花ロード活動を支えてくれました。



花植え会のお知らせ

日時: 令和2年9月19日(土)
午前8時から午前9時30分

時間: 午前7時30分から受付開始

場所: 藍場浜公園
徳島市藍場町1丁目

PASSPORT.継続について

前号 (PASSPORT.73)にてPASSPORT.最終号」というお知らせをさせてい

ただきましたが、今後も継続する運びとなり、結果的に虚偽のお知らせとなってし

まいましたことをお詫び申し上げます。身の回りの方から「続けた方が良い」、

「もったいない」、「タイトルや方向性は残したままで、内容を少しずつ変えていって

はどうか？」など、ありがたいご意見をたくさんいただきまして、継続することを決断致し

ました。これまでPASSPORT.というブランドが大切にしてきたものはそのままに、

内容をより分かりやすく、丁寧にお伝えしていけるものへと発展させていただく所存で

す。いつもこの冊子を手に取ってくださっている皆さまへ、そしてご意見いただきまし

た皆さまへの感謝の気持ちを込めて、これからも広報誌制作に携

わっていきます。ありがとうございました。



Q&A

経験者に聞く！
協働事業って
実際どうなの？

NPO法人ほっとハウス

2000年4月に知的障がい者の地域共同作業所として設立。知的障がい者に対し働く場を提供し、生活訓練を通して社会に適應する力を養う。現在では焼き菓子や手芸品の販売を行い、地域の様々なイベントで出店活動や小中学生との交流事業も行っている。

なぜ協働事業に申し込もうと思ったのですか？

災害などの緊急時には、自分の子やお店（ほっとハウス）の子たちを守らないかんけど、どうしたらいいか分からんし、でも何かしら備えはしておかなければとは思っていたので、丁度良い機会だと思うてなあ。それでよく、協働、っていうのは分かってなかったけど、とにかく出してみよう！って思ったんよ。

協働事業が始まる前の協働相手への印象はどうでしたか？

恥ずかしい話、あんまり深くは考えなくて、なんとなくお手伝いしてくれるんやな、ぐらいには思ってた。

今の（協働相手への）印象はどうですか？

最初の打ち合わせのときに担当課の課長さんが想いを話してくれてなあ、考えていることがよう分かったし、一緒にやっていってくれそうな人やなあ、思ったんよ。私らがやりたい！って思っている」とをきちんと形にしてくれてなあ、もう2年間一緒に事業をやったけれど、ほっとハウスだけでは絶対できなかったことをすることができた、ほんとに頼もしく思っています。



協働事業に応募しようか考えている方へメッセージはありますか？

私はこの協働事業に申し込んで良かったと思っています。とにかく踏み出してみると絶対助けてくれると思いますので、まずはちょっとでも興味がある人は相談してみてください。

- ① ワークショップの様子。防災リュックに何を詰めるべきなのかをみんなで考える。
- ② 防災リュックを自分たちで製作。NPO法人ほっとハウスの理事長である松本さん。
- ③
- ④



※協働事業とは？
徳島市では行政とNPO・企業・学校・地域団体など多様な主体が連携して地域課題の解決にあたる「協働によるまちづくり」を推進している。

